



S3オブジェクトストレージへのクライアント アクセスを有効にする ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

S3オブジェクトストレージへのクライアントアクセスを有効にする	1
ONTAP S3アクセスによるリモートFabricPool階層化を有効にする	1
ローカルFabricPool階層化用のONTAP S3アクセスの有効化	1
S3クライアントアプリケーションがONTAP S3サーバにアクセスできるようにする	3

S3オブジェクトストレージへのクライアントアクセスを有効にする

ONTAP S3アクセスによるリモートFabricPool階層化を有効にする

ONTAP S3をリモートFabricPoolの大容量（クラウド）階層として使用するには、ONTAP S3管理者がリモートのONTAPクラスタ管理者にS3サーバの設定に関する情報を提供する必要があります。

タスクの内容

FabricPoolクラウド階層を設定するには、次のS3サーバ情報が必要です。

- サーバ名 (FQDN)
- バケット名
- CA証明書
- アクセスキー
- パスワード (シークレットアクセスキー)

さらに、次のネットワーク設定が必要です。

- 管理SVM用に設定されたDNSサーバに、リモートONTAP S3サーバのホスト名に関するエントリ（S3サーバのFQDN名とサーバのLIFのIPアドレスを含む）が必要です。
- クラスタピアリングは不要ですが、ローカルクラスタにインタークラスタLIFが設定されている必要があります。

ONTAP S3をクラウド階層として設定する方法については、FabricPoolのドキュメントを参照してください。

["FabricPool を使用したストレージ階層の管理"](#)

ローカルFabricPool階層化用のONTAP S3アクセスの有効化

ONTAP S3をローカルのFabricPool大容量階層として使用するには、作成したバケットに基づいてオブジェクトストアを定義し、そのオブジェクトストアを高パフォーマンス階層のアグリゲートに接続してFabricPoolを作成する必要があります。

開始する前に

ONTAP S3サーバ名とバケット名を確認し、（パラメータを指定して）クラスタLIFを使用してS3サーバを作成しておく必要があります `-vserver Cluster`。

タスクの内容

オブジェクトストアの設定には、S3サーバとバケットの名前や認証要件など、ローカルの大容量階層に関する情報が格納されます。

作成したオブジェクトストア設定を別のオブジェクトストアまたはバケットに再関連付けしないでください。ローカル階層用に複数のバケットを作成できますが、1つのバケットに複数のオブジェクトストアを作成することはできません。

ローカルの大容量階層にはFabricPoolライセンスは必要ありません。

手順

1. ローカルの大容量階層用のオブジェクトストアを作成します。

```
storage aggregate object-store config create -object-store-name store_name
-ipospace Cluster -provider-type ONTAP_S3 -server S3_server_name -container
-name bucket_name -access-key access_key -secret-password password
```

- は、`-container-name`作成したS3バケットです。
- パラメータは `-access-key`、ONTAP S3サーバへの要求を承認します。
- パラメータ (シークレットアクセスキー) は、`-secret-password`ONTAP S3サーバへの要求を認証します。
- パラメータを `false` `設定すると、ONTAP S3の証明書のチェックを無効にできます `-is-certificate-validation-enabled`。

```
cluster1::> storage aggregate object-store config create
-object-store-name MyLocalObjStore -ipospace Cluster -provider-type
ONTAP_S3 -server s3.example.com
-container-name bucket1 -access-key myS3key -secret-password myS3pass
```

2. オブジェクトストアの設定情報を表示して確認します。

```
storage aggregate object-store config show
```

3. オプション: "[Inactive Data Reporting](#)を使用してボリューム内のアクセス頻度の低いデータの量を確認する"。

ボリューム内のアクセス頻度の低いデータの量を確認すると、FabricPoolのローカル階層化に使用するアグリゲートを決定するのに役立ちます。

4. オブジェクトストアをアグリゲートに接続します。

```
storage aggregate object-store attach -aggregate aggr_name -object-store-name
store_name
```

オプションを使用すると、FlexGroupボリュームのコンスティチュエントを含むアグリゲートを接続できます `allow-flexgroup true`。

```
cluster1::> storage aggregate object-store attach
-aggregate aggr1 -object-store-name MyLocalObjStore
```

5. オブジェクトストアの情報を表示し、接続したオブジェクトストアが使用可能であることを確認します。

```
storage aggregate object-store show
```

```
cluster1::> storage aggregate object-store show
```

Aggregate	Object Store Name	Availability State
-----	-----	-----
aggr1	MyLocalObjStore	available

S3クライアントアプリケーションがONTAP S3サーバにアクセスできるようにする

S3クライアントアプリケーションからONTAP S3サーバにアクセスするには、ONTAP S3管理者がS3ユーザに設定情報を提供する必要があります。

開始する前に

S3クライアントアプリケーションは、次のAWS署名バージョンを使用してONTAP S3サーバで認証する必要があります。

- 署名バージョン4、ONTAP 9.8以降
- 署名バージョン2、ONTAP 9.11.1以降

これ以外の署名バージョンはONTAP S3ではサポートされません。

ONTAP S3管理者がS3ユーザを作成し、バケット ポリシーまたはオブジェクト ストレージ サーバ ポリシーで個々のユーザまたはグループ メンバーとしてアクセス権限を付与しておく必要があります。

S3クライアント アプリケーションがONTAP S3サーバ名を解決できるように、ONTAP S3管理者がS3サーバのサーバ名 (FQDN) とLIFのIPアドレスを提供する必要があります。

タスクの内容

ONTAP S3バケットにアクセスするには、S3クライアントアプリケーションのユーザがONTAP S3管理者から提供された情報を入力します。

ONTAP 9.9.1以降では、ONTAP S3サーバで次のAWSクライアント機能がサポートされます。

- ユーザ定義のオブジェクト メタデータ

PUT (またはPOST) を使用してオブジェクトを作成するときに、一連のキーと値のペアをメタデータとして割り当てることができます。オブジェクトに対してGET / HEAD処理が実行されると、システムのメタデータとともにユーザ定義のメタデータが返されます。

- オブジェクトのタグ付け

オブジェクトの分類用に、キーと値のペアをタグとして割り当てることができます。メタデータとは異なり、タグはオブジェクトの作成とは別にREST APIを使用して作成および読み取られ、オブジェクトの作成時または作成後の任意の時点で実装されます。



クライアントがタグ情報を取得および設定できるようにするには、GetObjectTagging、DeleteObjectTagging、バケットポリシーまたはグループポリシーを使用して、およびをPutObjectTagging許可する必要があります。

詳細については、AWS S3のドキュメントを参照してください。

手順

1. S3サーバ名とCA証明書を入力して、S3クライアントアプリケーションをONTAP S3サーバで認証します。
2. 次の情報を入力して、S3クライアントアプリケーションでユーザを認証します。
 - S3サーバ名 (FQDN) とバケット名
 - ユーザのアクセスキーとシークレットキー

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。